

- 1 補助金名称 地方創生推進交付金（第2次募集）
- 2 国の所管 内閣府地方創生推進事務局
- 3 申請自治体 埼玉県幸手市
- 4 申請事業名 幸手市郷土愛醸成・魅力発信事業

5 事業の概要（目的）

平成 32 年度の東京オリンピック・パラリンピックを見越し、国内外の観光客及び住民に対し、幸手市の観光、歴史的な資源を活用し、幸手市の魅力を体感してみたいと思わせる効果的なPR動画を作成し発信する。

日光街道の宿場町の名残のあるまちなかにおいて、地元芸術家を中心としたNPO法人の協力のもとアートを展示し、交流人口の増加を図る。

平成 30 年度に開室予定の（仮称）郷土資料室のネーミングを住民との協働で行い、資料室で幸手の歴史に関連した地域資源を活かしたものづくりの体験できる講座を学校教育、社会教育等すべての世代を対象に実施し、市全体で郷土に対する愛着を醸成する。

さらに、現在、民具資料館として使用している旧幸手町立吉田中学校校舎を歴史的に保存し、有効活用する方法を官学連携により研究する。

また、長期的にはボランティアやNPO法人により講座を実施することを想定し、市民協働による事業の実施による地方創生の人材育成にも取り組む。

裏面に続く

6 交付申請額等

	総事業費	交付申請額	主な内容
平成 29 年度	3,500 千円	1,750 千円	(仮称) 郷土資料室講座用備品購入費、アートさんぽ事業委託料
平成 30 年度	9,530 千円	4,765 千円	P R 動画作成業務委託料、アートさんぽ事業委託料、旧吉田中学校木造校舎再生検討事業費補助金
平成 31 年度	4,360 千円	2,180 千円	(仮称) 郷土資料室愛称募集関係経費、講座講師育成講座、アートさんぽ事業委託料、旧吉田中学校木造校舎再生検討事業費補助金
合 計	17,390 千円	8,695 千円	

7 K P I (重要業績評価指標)

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H29年度 増加分 1年目	H30年度 増加分 2年目	H31年度 増加分 3年目	KPI 増加分 の累計
権現堂年間観光客数(人)	1,811,000	10,000	50,000	79,000	139,000
(仮称)郷土資料室 来室者数 (人)	0	0	1,500	500	2,000
人口の社会動態減少数 (人)	0	0	70	10	80